Otto Bock
QUALITY FOR LIFE

KIMBA Spring

キンバ スプリング
取扱説明書

目次

ページ

基本操作

1. カバーの取付（１）
2. カバーの取付（２）
3. ブレーキ
4. チルト・リクライン角度調整
5. シートユニットの取外し、取付
6. 折りたたみ

各部調整方法

7. 座幅調整
8. シートサイドパネル前後調整
9. バックレスト高さ調整
10. フットレスト調整（高さ･角度）
11. フットパネル角度調整（オプション）

オプション使用方法

12. ロールループ
13. 内転防止パッド
14. 胸部・肩ベルト（取付方法）
15. 胸部・肩ベルト（装着方法）
16. フィクセーションジャケット（取付方法）
17. フィクセーションジャケット（装着方法）
18. ラップベルト
19. 4点支持ベルト
20. ヘッドレスト
21. 胸部サポート
22. 股ストラップ
23. 股ストラップ（装着方法）
24. 手すり/トレイ
25. フレームパッド
26. サン＆レインルーフ（１）
27. サン＆レインルーフ（２）
28. スプリング強度調整

Otto Bock
QUALITY FOR LIFE

基本操作

カバーの取付（１）

①

シートユニット

①

キンバのシートは、下記のパーツで構成されています。

・シートユニット

・体幹サポートパッド (A：柄あり)

・シートサイドパッド (B：無地)

・バックレストカバー (C)

・座面シートカバー (D)

②

②

体幹サポートパッドはクッションが入っているほうを内側にして、シートユニットのプレートにはめ込んでください。プレートとパッドは、ベルクロで固定できます。

③

③

シートサイドパッドは、クッションの厚いほうを内側にして、シートユニットのプレートにはめ込んでください。プレートとパッドは、ベルクロで固定できます。

カバーの取付（２）

④

④

バックレストのカバーはフードの部分を最初にかぶせ、ファスナーを閉じてください。

カバーとバックレストのベルクロを固定し、カバーの端をバックレスト裏側に出します。

⑤

⑤

カバーの端は、バックレスト裏側の下端と左右2箇所のスナップボタンで固定できるようになっています。

⑥

⑥

座面シートカバーがシートユニットの座面の左右中央になるようににおいて、ベルクロで固定します。

座面シートカバーの後ろ端2cmがシートユニットの座面から出るようにしてください。

ブレーキ

①

①

ブレーキは、本体フレームの後方中央についています。

足でペダルを踏み込むと、ブレーキがかかります。

ブレーキがかかりにくい場合は、無理にペダルを踏込まずに、バギーを僅かに動かして踏み直してください。

②

②

ペダルを上に戻すと、ブレーキが解除されます。

プッシュハンドル

①

プッシュハンドルの左右の内側付いているボタンを押すと、ハンドルの角度を変えることができます。

②

ボタンを両手の親指でしっかり押し込んでからハンドルの角度調整を行ってください。

③

①～④

ハンドルは様々な角度に調整できます。

④

チルト・リクライン角度調整

①

リクライニング角度調整

①

安全のため、リクライン角度調整の前に、必ずブレーキをかけてください。

まず、片手でバックレスト上部をしっかり持ちます。もう一方の手で、レバー(点線丸)を緩めると(A)、リクライン角度を調整することができます。

※　レバーを緩めすぎないように注意してください。レバーは半周まわせば、バックレストが動くようになります。

角度が決まったら、レバーをしっかり締め直し(B)、バックレストを固定します。

※　角度調整が終わるまで、バックレスト及びレバーから手を離さないで下さい。

②

チルト角度調整

②

安全のため、リクライン角度調整の前に、必ずブレーキをかけてください。

まず、片手でバックレスト上部をしっかり持ちます。もう一方の手で、フレーム左側のチルト調整レバー(点線丸)をフレームに沿って引くと、チルト角度を調整することができます。

角度が決まったら、レバーを離してください。その角度で固定されます。

※　角度調整が終わるまで、バックレストから手を離さないで下さい。

シートユニットの取外し・取付

①

①

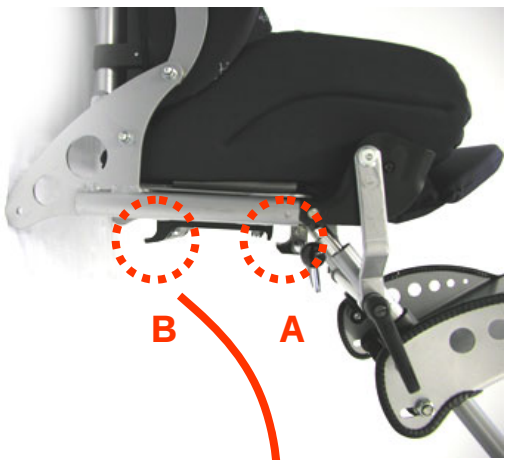
操作の前に、必ずブレーキをかけてください。

シートユニットの進行方向の右側に立ちます。バックレストの上端を片手でしっかりと持ちます。

シート下にある介助レバー(点線丸)をフットレストの方向に引くと、シート取付アダプター(②—A）が開きます。

シートユニットを後方に傾けてから上に持ち上げると、シートユニットを外すことができます。

②



②

シート取付アダプター

シート前方のフック(A)をレバーで操作することで、取り外しができます。

③

③

バックレスト上端と座面シート前端を持ち、シートユニットを後方45°に傾けた状態で、取付アダプターのフックBを、シートフレームの後ろ側のパイプ(矢印)にはめ込みます。

この状態で、座面シート前端を上から押すと、前方のパイプにフックAがはまり、シートとフレームが固定されます。

シートは、前後どちら向きでも取付けるこ

折りたたみ

①

①

フレーム両サイドについている介助レバー(点線丸)をフレームに沿って引上げると、ロックが外れます。

②

②

両側のロックが外れたことを確認して、ハンドルを前方へ倒してください。

③

②、③、④

この時、ハンドル以外の部分を持たないで下さい。手をはさむ危険があります。

④

④

折りたたんだ状態

※

元に戻すときは、ハンドルを逆に引上げて①の状態まで戻してください。最後にハンドルを上から押すと、ロックが自動的にかかります。必ず両側のロックがかかったことを確認してから御使用ください。

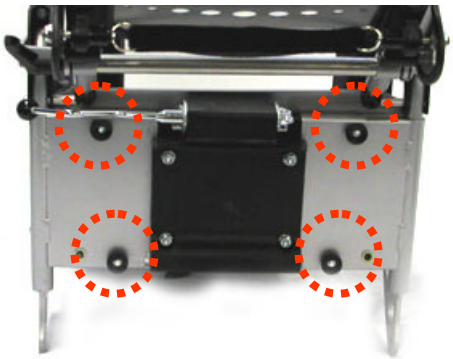
Otto Bock
QUALITY FOR LIFE

各部調整方法

座幅調整

キンバスプリングは、座面の幅と座面の奥行きを調整することができます。

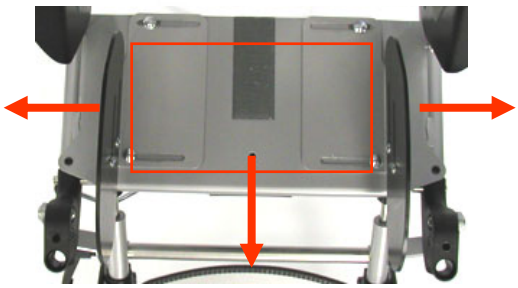
①



①

座面シートの裏側にある４つのプラスチックナット(点線丸)を手で緩めると、座面プレートを前後に、サイドパネルを左右に調整することができます。

②



②

座幅、座奥行きとも最も小さくした状態

③

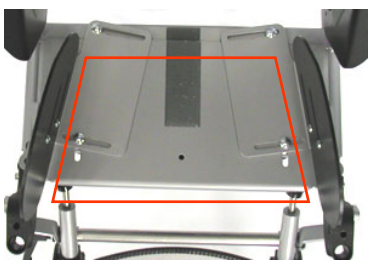
③

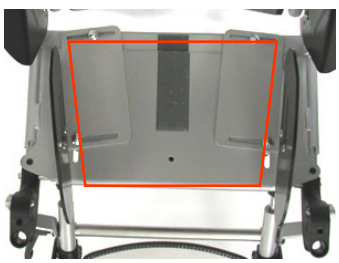
座幅、座奥行きとも最も大きくした状態。

②～③の間で無段階に調整ができます。

調整が終了したら、プラスチックナットをしっかりと締め直してください。

④





④

サイドパネルは、斜めにセットすることも可能です。

シートサイドパネル前後調整

使用工具：六角レンチ(4mm)

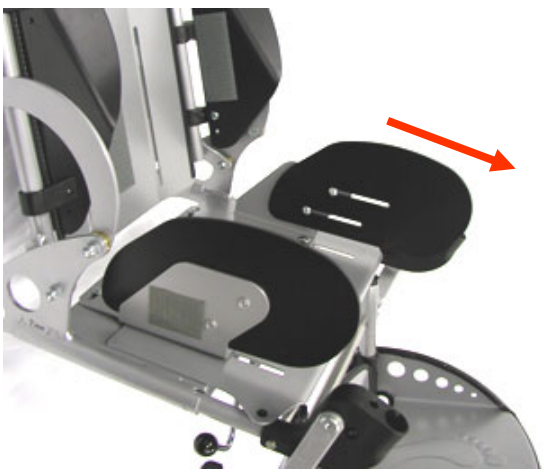
①

座奥行きにあわせて、シート部のサイドパネルも前後に調節することができます。

①

サイドパネルのカバーを外すと、サイドパネル内側に２本のボルト(点線丸)が見えます。これを緩めると、サイドパネルを前後に調節することができます。

②



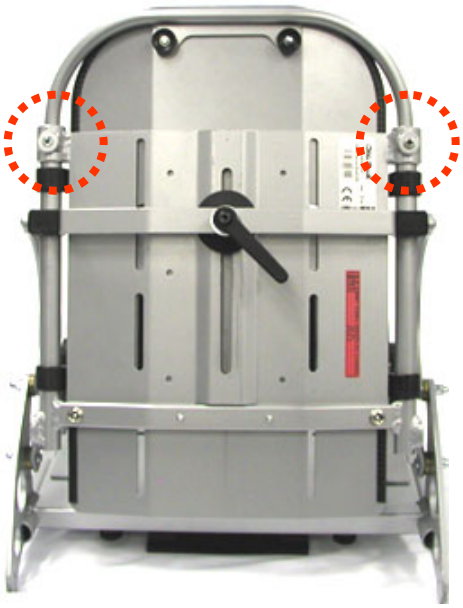
サイドパネルを前方にスライドさせた状態。

調整が終わったら、ボルトをしっかりと締め直して、カバーを付け直してください。

バックレスト高さ調整

使用工具：六角レンチ(4mm)

①



②

①

バックレスト裏側の２本のボルト(点線丸)を緩めると、バックレスト高さを調節することができます。

②

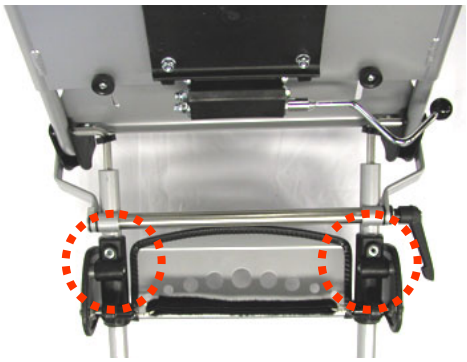
バックレストをスライドさせた状態。

調整がおわったら、ボルトをしっかりと締め直してください。

フットレスト調整（高さ・角度）

使用工具：六角レンチ(4mm)

①



①

フットレストフレーム裏側の左右にある２本のボルト(点線丸)を緩めると、フットレストの高さを調整することができます。

②

③

②、③

フットレストの上下調整。

調整は無段階で可能です。

調整がおわったら、ボルトをしっかりと締め直してください。

④

④

フットレスト右側のクランプレバー(点線丸)を緩めると、フットレストの角度を調整することができます。

※　角度を調整するときには、左右のフットレストフレームを持って、調整してください。

調整が終わったら、クランプレバーをしっかり締め直してください。

※　クランプレバーは、手前に引きながらまわすと、ボルトを動かさずにレバー位置だけを変えることができます。レバーが他の場所に接触する場合、この方法でレバー位置を動かしてください。

フットパネル角度調整（オプション）

使用工具：スパナ(13mm×2本)

①

標準仕様のフットパネルは、フットレストに対して90°になります。

オプションで、角度調整可能なフットパネルをご用意しています。

①

フットパネル左右の横に付いているボルト(点線丸）を緩めます。

そのままフットレストを希望の角度に調整して、ボルトをしっかりと締め直してください。

②

②

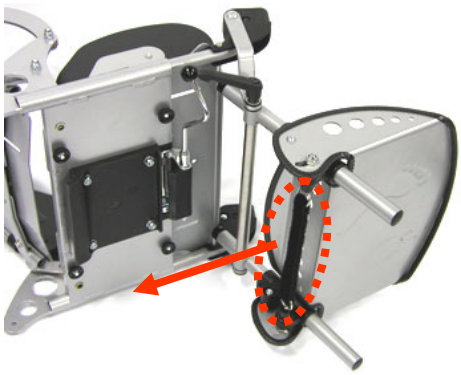
フットパネルの角度調整

③

角度調整タイプのフットレストは、調整した角度で自動的にロックされます。

フットレスト裏側のベルト(点線丸)を後方に引くと、ロックが解除され、フットパネルを折りたたむことができます。

③



④

フットパネルを折りたたんだ状態。

④

※　フットパネル角度を調整した後は、③の方法で一度パネルを折りたたみ、その後元に戻してロックが作動することを確認してから御使用ください。

ロックが作動しない場合は、左右のボルト位置がずれている可能性があります。

オプション使用方法

ロールループ

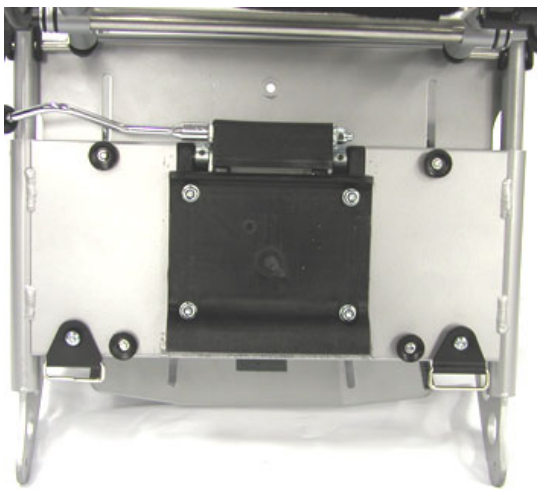
使用工具：六角レンチ(4mm)

①

①

様々なオプションが最適な状態で機能できるよう、ストラップ等を通すための2つのロールループが付属しています。

②



②

ロールループは座面裏側に取付けます。

必要に応じてA・B・Cの3種類の取り付け箇所をお選び頂けます。

内転防止パッド

使用工具：六角レンチ(4mm)

①

①

座面シートカバーの中央に、皮製のパッチ(点線丸)が縫い付けられています。このパッチに切り込みを入れます(切り込みの位置は、必要に応じて決めてください)

②

②

座面シートの裏から、内転防止パッド固定ボルトを通します。

③

③

内転防止パッドの裏面にはスリットが付けられており、前後位置の調整が可能です。

位置が決まったら、固定ボルトをしっかりと締めてください。

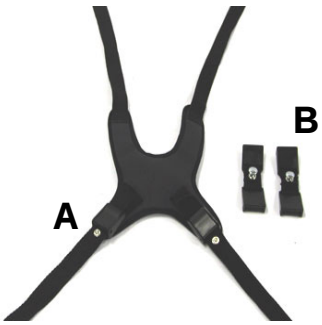
④

④

取付けた状態

胸部・肩ベルト（取付方法）

①



①

胸部・肩ベルトには、以下のものが含まれています。

A：胸部・肩ベルト本体

B：バックル×2セット（固定ボルト含む）

②

②

バックレストカバーを外し、バックレストの縦型スリットに、バックルを取付けます。この時、固定ボルトのプラスチックナットが、バックレスト裏面となるように固定してください。

バックレストカバーを元に戻します。

③

③

胸部・肩ベルトからは4本のストラップが出ています。縫い付けられているほうが肩側、バックルで固定されている方が下側になります。

バックレストカバーの柄が切り替わる所に、肩ベルト通し穴が開いています(点線丸)。ここに、肩側のストラップを通してください。

④

下側のストラップは、バックレストと座面シートの隙間からバックレスト裏側に回し、さらにロールループを通します。

④

4本のストラップを、②で取付けたバックルに通し、固定します。

胸部・肩ベルト（装着方法）

⑤

⑤

お子様を座らせる前に、バックレスト裏側の4つのバックルを緩め、胸部・方ベルトを少し前に引きます。

胸部・肩ベルト下側のバックルを緩め、ストラップを外し、シートの横におきます。

⑥

お子様がすわったら、頭から胸部・肩ベルトをくぐらせ、上半身にあてます。

下側のバックルに再びストラップを通し、留めボタンがバックルとあたるまで引いて、バックルを固定します。

⑥

後ろ側に周り、まず下側のストラップをしっかりと引きます。この時、胸部・肩ベルトが左右対称で、腰の位置に長待て散ることを確認してから、下側のストラップをバックルで固定します。

それから、上側のストラップを引いて、バックルで固定します。

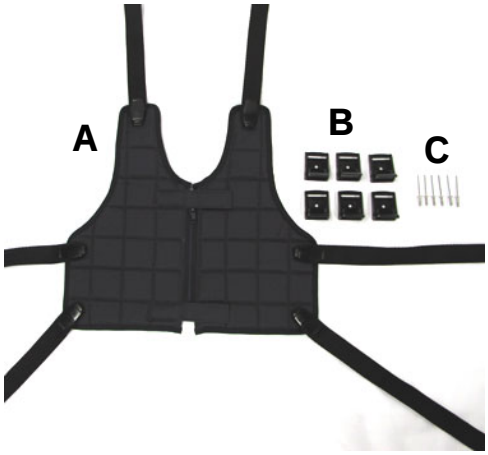
肩ベルトの通し穴が、お子様の方から2～3cm上にくるようにするのが目安です。
場合によっては、バックレストの高さ調整が必要になります。

※　胸部・肩ベルトをご使用の際は、必ず内転防止パッド、または股ストラップを御併用ください。万が一、お子様が前方に滑り落ちた時、首がかかる恐れがあり、非常に危険です。

フィクセーションジャケット（取付方法）

使用工具：ハンドリベッター

①



①

フィクセーションジャケットには、以下のものが含まれています。

A：フィクセーションジャケット本体

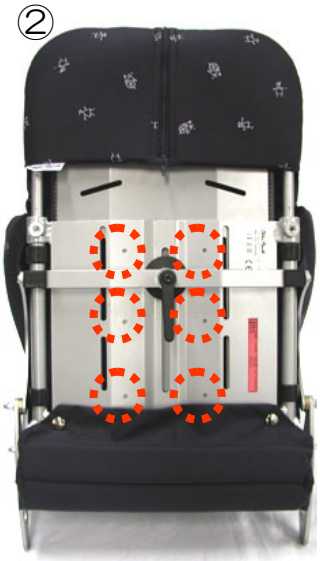
B：バックル×6個

C：リベット×6本

②

バックレストには、バックル取付用の6個の穴が開いています(点線丸)。

②



③

③

バックレストカバーを外し、バックルが外側になるようにして、内側からリベットで留めます。

再びバックレストカバーを取付けます。

④

④

フィクセーションジャケットには、6本のストラップが付いています。

上側の2本は、肩ベルト通し穴(ページ③参照)を通します。

中段の2本は、バックレストと両サイドの体幹サポートパッドの間を通します。

下側の2本は、バックレストと座面シートの間を通し、更にロールループを通します。

6本のストラップを、バックルで固定します。

フィクセーションジャケット（装着方法）

⑤

⑥

⑦

⑥

<u>フィクセーションジャケットの取外し</u>

前面中央の2箇所のベルクロテープ(A)を外し、ジッパー(B)を開くことができます(⑥)。

また、6本のストラップは、差込式のコネクター(C）により取付けられています。必要に応じて、取り外しが可能です。

⑦

<u>フィクセーションジャケットの装着</u>

お子様を適切な位置に座らせ、まずファスナーを閉めます。ジャケットを上体に当てて、ストラップのコネクターを全て差し込みます。必要に応じて、後ろ側からストラップを引き、バックルで固定します。

※　胸部・肩ベルトをご使用の際は、必ず内転防止パッド、または股ストラップを御併用ください。万が一、お子様が前方に滑り落ちた時、首がかかる恐れがあり、非常に危険です。

ラップベルト

①

②

①

ラップベルトは、両端がベルクロテープになっています。

②

ベルトの両端を、バックレストと座面シートの間に通し、ロールループを通してからベルクロテープを張り合わせてください。

ベルクロテープは、15cm以上重ねて留めてください。

固定の際は、カチッと音がするまでバックルを合わせてください。

胸ベルト

①

②

①

胸ベルトは、両端に2個ずつの留め穴があり、固定用のボルトが付属しています。

バックレストカバーを外し、バックレストの縦スリットに、ベルトの両端を固定してください。このとき、固定ボルトのプラスチックナットが、バックレストの裏側にくるようにしてください。

②

固定したら、バックレストカバーを取付けてください。

４点支持ベルト

使用工具：ハンドリベッター

①

①

4点支持ベルトには、以下のものが含まれています。

A：4点支持ベルト本体

B：バックル×2個

C：リベット×2本

②

バックレストには、バックル取付用の6個の穴が開いています。このうち、上の2個を使用します(点線丸)。

②

③

③

バックレストカバーを外し、バックルが外側になるようにして、内側からリベットで留めます。

再びバックレストカバーを取付けます。

4点支持ベルトの肩ベルトを、肩ベルト通し穴から通し、バックレスト裏側のバックルで固定します(肩ベルトの長さ調整は、このバックルで行います)。

④

④

下側ベルトの、片側のバックルをベルトから完全に外し、バックレストと座面シートの間を通します。それからロールループを通し、バックルを付け直します。

肩ベルトのプラスチックバックルを合わせ、バックルの穴を通るように、下側ベルトの両方のバックルを合わせます。

固定の際は、カチッと音がするまでバックルを合わせてください。

ヘッドレスト

①

②

③

④

①

ヘッドレスト本体(ペア)

②

ヘッドレストは、裏側に2本の固定ボルト(点線丸)が付いています。横方向にスリットがついており、左右の位置調整も可能です。

③

バックレストカバーを外し、次にバックレストの上端についている2本の固定ボルトを外します。このとき、バックレストの上部に4つの取付穴ができます(点線丸)。

④

バックレストカバーを付け直し、ヘッドレストの固定ボルトをバックレストカバー上部の4つの穴とバックレストの穴に通し、裏側からプラスチックのナットで固定します。

固定ボルトを緩めると、左右の位置調整が可能です。

高さの調整は、バックレストの高さ調整により行います。

胸部サポート

使用工具：六角レンチ(4mm)

①

①

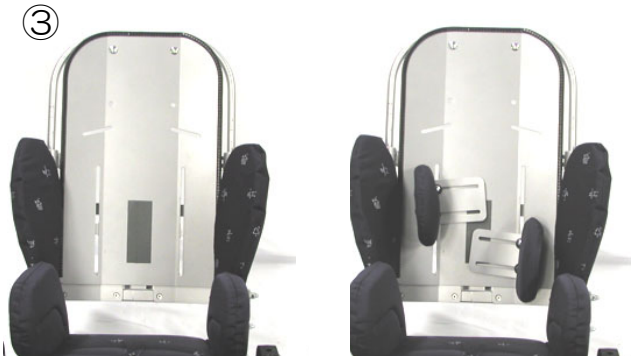
胸部サポートパッド(ペア)

②

②

まず、胸部サポートパッドを取付ける高さを決め、その位置でシートの皮製のパッチ(点線丸)に切れ込みを入れます。

③



③

バックレストカバーを外し、縦のスリットにサポートパッドの固定ボルトを差込み、裏側からプラスチックナットで固定します。

ナットを緩めると、上下・左右の位置調整が可能です。

④

バックレストカバーを取付けた状態。

④

※パッドのカバーを外し、ボルト(①の点線丸)を緩めると、パッドの高さ調整も可能です。

調整後は、しっかりとボルトを締めなおして、カバーを付け直してください。

股ストラップ

①

最初の取付の際には、シートユニットをフレームから取外すことをお奨めします。

①

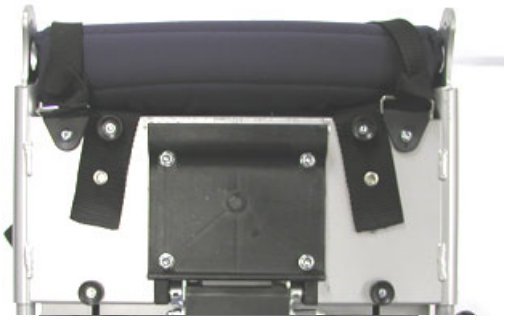
股ストラップ(ペア)

②

②

バックルの付いた面が下になるように、股ストラップを座面シートの上に起きます。

③



③

①/Aの2本のストラップをバックレストと座面シートの間に通し、座面シート裏側の座幅調節用ボルトで留めます。

④

④

①/Bの2本のストラップの端を座面シート下のロールループに固定し、座面シートとバックレストの間を通して、シート上に置きます。

股ストラップ（装着方法）

⑤

⑤

股ストラップの上にお子様を座らせます。

股ストラップの両端が、お子様の両足の間を通り、骨盤に沿うように調整してください。

⑥

⑥

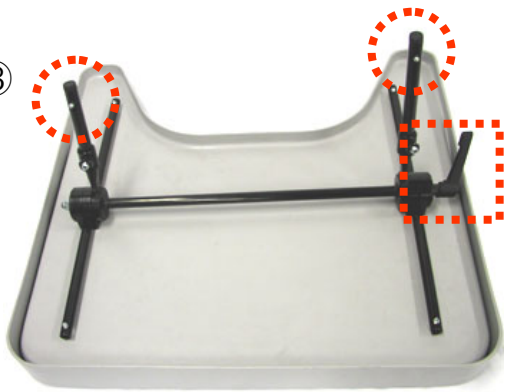
ロールループに通したストラップ(①/B)のバックルを、股ストラップ両端に差し込んでください。

ストラップ(①/B)の端を背中の折り返すように引っ張り、長さを調整してください。

手すり / トレイ

①

②



③

④

①

手すり(手すりパッドが付いた状態）

手すりの両端には、ストッパーがついています(点線丸）。

また、手すりの両端は長さが異なります。

②

ストッパーを指で押しながら、長い端からシート前面のホルダーに手すりを差し込んでください。

このとき、ストッパーが前方にくるようにしてください。

長い端をはめ込んだ後、同様にして短い端もホルダーにはめ込みます。

取外す際は、短い端のストッパーを押し、上に引上げてください。

その後横方向にスイングするか、もしくは長い端のストッパーを押して、完全に取り外します。

③

手すりと同じ要領で、トレイを取り付けることができます。

クランプレバー(点線四角）を緩めると、トレイの角度と前後位置の調整ができます。

④

トレイを取付けた状態。

※　トレイは、対面シートでは使用できません。

※　トレイに重量物を載せないで下さい。

フレームパッド

①

①

フレームパッド(ペア)

両端のベルクロにより、プッシュバーをくるむようにして、留めることができます。

②

②

装着前

フレーム部分でパッドを巻いて留め、折りたたみレバー(点線丸)の上にフレームパッドがかかるように、下方向に引っ張ると、軽く固定されます。

③

③

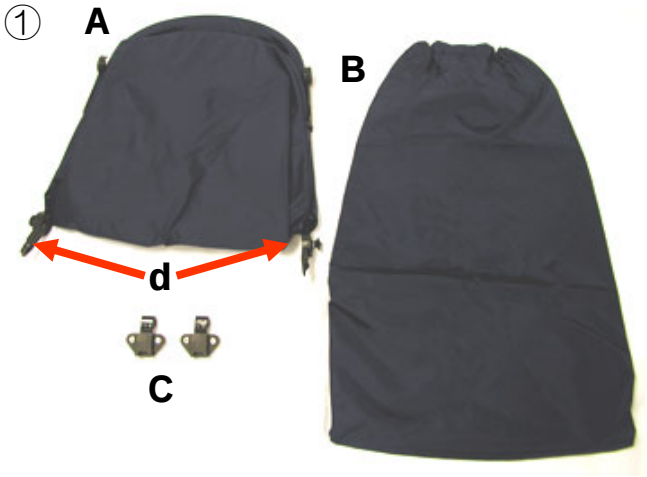
装着後

折りたたみの際はフレームパッドを引上げて、折りたたみレバーにかからないようにします。

サン&レインルーフ（1）

使用工具：六角レンチ(3mm、4mm)

①



①

サン&レインルーフには、以下のものが含まれています。

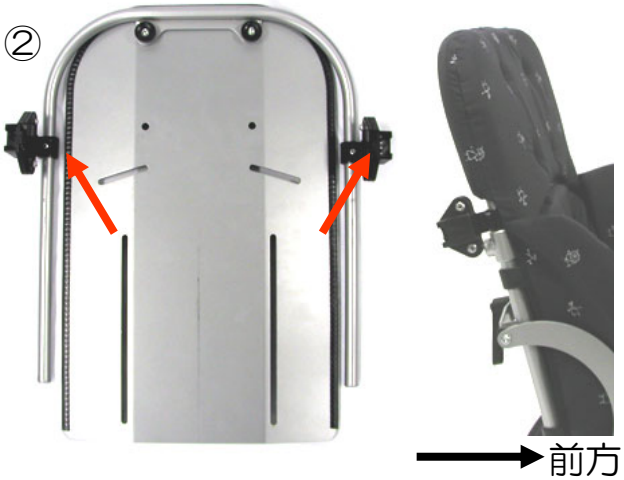
A：ルーフ

B：レッグカバー

C：取付用アダプター

D：ジョイント

②



②

バックレストカバーを外し、高さ調整に使用するボルトを緩め、バックレストの上側をを完全に外します。

左右両側のパイプに取付用アダプターを差込み、ボルト(矢印）で固定します。

③

取付用アダプターにルーフのジョイント（①/D）を差し込みます。　プラスチックナット(点線丸)を緩めると、ジョイントの角度を変えることができます。

③

④

④

取外すときは、先端(点線四角)を内側に押し、矢印の方向へスライドさせてください。

サン&レインルーフ（2）

①

ルーフは取付けたままでも折りたたむことができます。

②

プラスチックナット(点線丸）を緩めると、ルーフの角度を変えることができます。

③

ルーフの角度調整

④

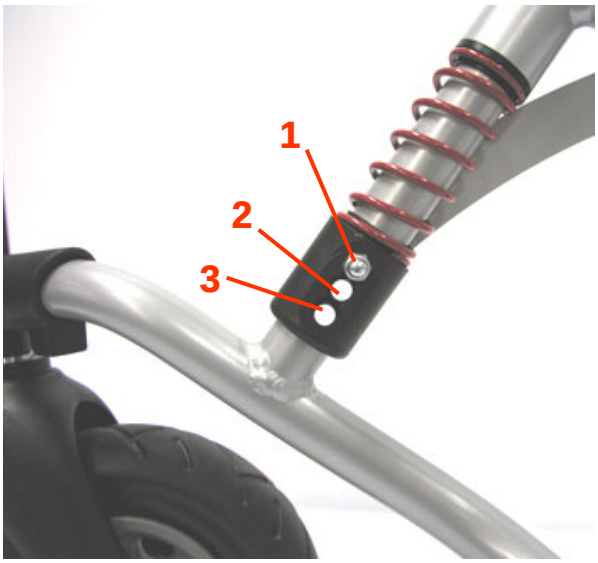
レッグカバーはフットレストに引っかけてシート全体を覆うように上まで引上げます。

カバーに付いているゴムのコードをバックレストの裏側で留めて、カバーを固定します。

※　サン&レインルーフ使用時は、リクライニングの角度調整を制限する場合があります。

スプリング強度調整

使用工具：六角レンチ(4mm)



スプリング強度は3段階に調整することができます。

スプリング受ブラケットの固定ボルトを緩め、完全に抜き取ります。

ブラケットをフレームに沿って上に引上げながら、使用するブラケットの穴、フレームの穴、アーム(A)の取付穴を合わせ、再びボルトで固定して下さい。

スプリング強度の目安は以下のとおり。

体重	使用するブラケット穴
10kg以下	**1**
10～20kg	**2**
20～35kg	**3**

前輪キャスターロック（オプション）

悪路等での走行を補助するため、オプションで前輪キャスターロックをご用意しています。

使用方法

キャスターを直進方向に向けます（バギーを軽く直進させると、自然に向きます）

ロックケース(点線丸)を手前に引くと、ロックがかかります。

ロックを解除するには、ロックケースを奥に押し戻してください。

製品に関するお問合せは
オットーボック・ジャパン株式会社
営業部
〒108-0023
東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F
TEL: 03-3798-2111　　FAX: 03-3798-2112
E-mail: ottobock@ottobock.co.jp
http//www.ottobock.co.jp